

記念樹(ナナカマド)植樹の様子

全面オープンー

6月6日、そよ風パークホテルウィンディ 6月6日、そよ風パークホテルウィンディ が改装を終えてオープンしました。式典には が改装を終えてオープンしました。式典には が改装を終えてオープンしました。式典には が改装を終えてオープンしました。 11まれる道の駅そよ風パークとしてのシンボルであるホテルウィンディ。ホテルロ でいます。 11まれる道の駅そよ風パークとしてのシンボルであるホテルウィンディ。 11まれる道の駅そよ風パークとしてのシンボルであるホテルウィンディ。 11まれる道の駅そよ風パークステルウィンディ

ホテルウィンディ(道の駅「そよ風パーク」内)

- ■時間/定休日 時間チェックイン 15:00~ チェックアウト ~10:00 定休日:年中無休
- ■利用料金 平日:1泊2食付き 9,000円~ 休前日:1泊2食付き 11,000円~
- ■設備 洋室9室 和室:3室 全室冷暖房・ 全室インターネット(無線LAN) 対応
- ■お問い合わせ先 TEL:0967-83-0880 HP:https://soyokaze-park.jp/



やまとの話題

町で活動しているALTを紹介します!

昨年度から、小学校において外国語授業が、3・4年生で必修化、5・6年生で教科化となり、本町では3名のALTが各校で外国語指導助手として活動しています。

令和3年4月から町内小中学校に配置されている3名のALTを紹介します。

※ ALT とは Assistant Language Teacher の略です。



ヤン ルブラン先生

(出身 フランス共和国)

- ●配置校
- 中島小学校、矢部中学校
- ●好きな言葉 『人は失敗から学ぶ』
- ●山都町の好きなところ山都町の大自然とあたたかい町民が好きです。また、優しい先生方と生徒の皆さんに会うのも大好きです。
- ●メッセージ

新しいことを学ぶことは、流れ星を見ることと同様に、躊躇しているうち機会を逃してしまいます。学習の機会を逃さないようにとにかく新しいことを学ぶことを楽しみながら、いっぱい間違えることを恐れないことが大事です。『失敗から学ぶ』を軸に、一緒に頑張りましょう!



ジェイコブ クルーガー先生

(出身 アメリカ合衆国)

- ●配置校
- 矢部小学校、潤徳小学校、清和中学校
- ●好きな言葉 『一人で立つ勇気』
- ●山都町の好きなところ
- 山都町の自然と景色が大好きです。
- ●メッセージ

間違いを恐れず、自信と抱負を胸に積極的にチャレンジしましょう!



ホワイト マクファレイン ライアン先生

(出身 オーストラリア連邦)

- ●配置校
- 清和小学校、蘇陽小学校、蘇陽南小学校、蘇陽中学校
- ●好きな言葉 『空気を読む』
- ●山都町の好きなところ
- 山都町の大自然、数々の滝、よく釣れる釣り堀と、何より陽気な町民の皆さんが好きです。
- ●メッセージ

英語を楽しみましょう!私を見かけたら是非「hello」といって下さいね。よろしくお願いします。

問合せ先 学校教育課 ☎ 72-0443

銘茶の品質向上を目指して

6月18日、山都町茶品評会が開催されました。審査は県農業研究センター茶業研究所、県農業技術課農業革新支援室、上益城地域振興局農業普及・振興課の職員5名により蒸し茶部門16品、釜炒り茶部門11品の茶葉の色、水色、香気、滋味(茶の味)の4項目について審査が行われました。

小野茶業研究所長より「今年は例年より早い成長が見られたがいい目合で摘まれたものが多い。非が目立つものが少なかった。」と講評が行われました。



今年の豊作を願い、 通潤橋前棚田で田植え

6月12日、通潤橋前の棚田でJAかみましき青壮年部主催によるお田植え神事が行われました。笠をかぶり、前掛け、手甲などを身に着けた早乙女姿の女性たちがひのひかりの苗を1株ずつ丁寧に植えていきました。植えられたひのひかりは9月下旬から10月に収穫され市場に出荷されます。



植樹を通して森林再生を~森林整備協定締結~

6月30日、認定NPO法人環境リレーションズ研究所、森林所有者の藤川秀一さん(荒谷)、緑川森林組合および山都町は「森林整備協定」を締結しました。この協定は環境リレーションズ研究所が展開する「プレゼントツリー」事業によるものです。本事業は誕生日や節目に行う記念樹の植樹を通して、都市部と地域の人の交流のきっかけを作り、交流人口を増やすことで「地域づくりと森づくり」を推進することを目的としています。同NPOの鈴木理事長は「山都町はとても人気のある植栽地。今後も植栽活動を展開していきたい。」と話されました。今回、町において2例目の協定となります。昨年6月に協定を交わし今年4月に開催された第



1弾目の植樹事業では白糸台地に2千本の広葉樹が植えられました。

第71回 "社会を明るくする運動" ~犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ~

"社会を明るくする運動"は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。その中でも、保護司(法務大臣委嘱)の方々は、民間ボランティアとして、罪を犯し保護観察を受けることになった人の見守り、様々な相談や助言のほか、犯罪予防のための地域活動等に取り組まれる等、地域の安心・安全に関して重要な役割を担われています。

本町の保護司(16名)を紹介します。

(矢部地区 11名) 真野 円理、梅田 勇二、菊池 成明、志賀 美枝子、荒木 貢、中村 豊光 橋本 信一、兼瀬 義明、甲斐 英子、村上 浩一、光永 篤史

(清和地区 2名) 原住 寿秋、川□ 泰介

(蘇陽地区 3名)後藤冠、橋野和仁、田中要

※なお、7月は強化月間であり、町では、例年、推進大会を実施しているところですが、本年度は、新型コロナウイルス感染防止を図るため中止することとしました。

広報やまと 2021. 7月号